

表1 船橋市スクールカウンセラー相談件数 推移

	児童	保護者	教職員
H26年	3,338	1,896	3,703
H27年	3,807	2,932	5,639
H28年	4,846	3,421	7,399
H29年	4,701	3,811	7,565
H30年	5,109	3,856	7,154
合計	21,801	15,916	31,460

表2 児童数一覧(令和元年5月1日現在)

	学校名	人数
30学級以上 (多い順から3校)	坪井小学校	1236
	中野木小学校	1197
	葛飾小学校	1143
10学級以下 (少ない順から3校)	高根小学校	159
	咲が丘小学校	172
	豊富小学校	190

◆校内連携と運用方法の変更で、改善できるのか

不登校への緊急対策を行うことを議会で提案しましたが、市は、「カウンセラーの日数を増やす、学校と各関係機関との連携など、今ある制度の充実で対応できる」と応えています。

現在、スクールカウンセラーの配置は、2014年度は1日6時間・週1回の配置で年間35

一日も早い、実効性のある対応が求められています。

日本共産党は、◇スクールカウンセラーを常勤にして、生徒数や相談件数に応じて配置を増やす◇全市で5名体制のスクールソーシャルワーカーを増員し、校長からの要請以外の相談も受けられるようにする、などを提案しています。

学校現場での相談体制

カウンセラーの常勤化とソーシャルワーカーの増員を

船橋市では、2014年から市内の全小学校にスクールカウンセラーを配置し、子どもや保護者の相談にのり、必要に応じて教職員との連携をすすめています。

昨年度、カウンセラーへの相談で最多は「性格身体」についての相談でしたが、子ども・保護者・教職員のいずれからも相談が多い傾向があるのは、「不登校」についてです。この5年間で、2倍以上増えています。

の充実」を取り上げる議員も多く、教育行政の深刻な課題です。「学校に行きたくない」という、子どもの必死の求めに、必要な対策をとることはもちろん重要ですが、不登校に至る前の学校生活の中で、子どもたちに寄り添い、子どもたちの立場で問題解決に取り組む対策の強化が、今、求められているのではないのでしょうか。

日配置でしたが、2016年度には40日、2018年度にはスクールソーシャルワーカーとの連携を含めて43日と、増やされてきています。

しかし、相談件数は年々増加の一途をたどっています(表1参照)。さらに学校の生徒数に関わりなく、1名しか配置されていないことから、大規模校での相談業務はかなり多忙ではないかと危惧されます(表2参照)。

◆税金を私物化する「桜を見る会」の真相究明を!

日本共産党船橋議員団

ミニにゅうす

日本共産党国会議員団千葉事務所 ☎043-302-2005
 <市議団控室☎047-436-3030 FAX047-420-7201>
 ----- 市 会 議 員 -----
 岩井友子 ☎438-8647 坂井洋介 ☎404-2039
 金沢和子 ☎422-5278 松崎さち ☎432-9317
 神子そよ子 ☎769-7271

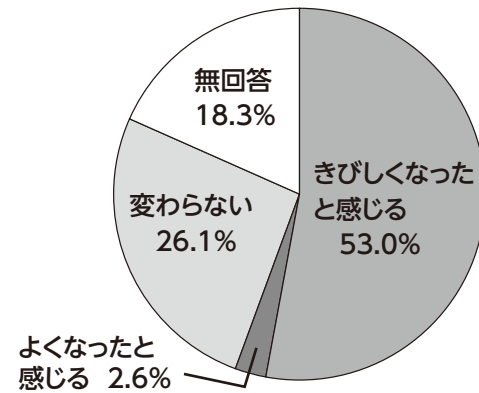


アンケートのご協力ありがとうございました

今年も皆さんにご協力いただいた「市民アンケート」をもとに「2020年度予算要望書」を作成し、12月18日市長へ提出、要望実現の申し入れをしました。8月より市内に約14万枚を配布し、10月15日までに1

354通の回答をいただきました。市民のくらは、昨年に比べ半数以上が厳しくなったと回答し、社会保障の充実、子育て支援を望む声が多く寄せられています。船橋市議団はこれからも皆さんと力を合わせ、要求実現に取り組んでまいります。

■暮らしについて、去年と比較してきびしくなっていると感じますか



■優先的に実施してほしい政策(24項目から5つ選択)

